

会 議 名	第3回 広報みなと特別号の作成業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和7年7月28日（月曜日）午後4時から午後5時15分まで
開 催 場 所	区役所9階914会議室
委 員	【出席者】荒川 正行企画経営部長（委員長）、相川 留美子企画課長（副委員長）、多田 伸也デジタル改革担当課長、大塚 浩子国際化・文化芸術担当課長、寺戸 尚美観光政策担当課長
事 務 局	企画経営部区長室
会 議 次 第	1 開会 2 第二次選考の進行について 3 事業者プレゼンテーション及び質疑応答 4 議題審議 議題1 第二次選考の採点結果について 議題2 事業候補者の選出について 5 事務連絡 6 閉会
配 付 資 料	資料1 出席委員一覧 資料2 タイムスケジュール表 資料3 会議室会場図 資料4 採点表（第二次審査） 資料5 採点表（第二次審査結果・総合評価） ※採点集計後に配布 資料6 第二次審査想定質問一覧表 参考資料1 仕様書 参考資料2 選考基準 参考資料3 募集要項 参考資料4 質問と回答（一覧） 様式4 事業者概要及び業務実績 様式5 業務従事予定者の経歴及び専任性 様式6 業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 様式7 企画提案書（広報誌作成に対する姿勢・考え方） 様式8 企画提案書（紙面の提案）

	様式8別紙 提案紙面（A3サイズ） 様式9 具体的な冊子記事案（第二次審査事前提出資料） 見積書 見積書 過去の成果物 広報としま TOSHIMA plus（2025年4月号）
会議の結果及び主要な発言	
委員長 事務局 全委員	1 開会 （委員長から開会の挨拶） （事務局から配布資料の説明） （質問等なし）
事務局 全委員	2 第二次選考の進行について （資料2から資料4でスケジュール等を説明。） （質問等なし）
委員長	3 事業者プレゼンテーション及び質疑応答 次第の項番3「事業者プレゼンテーション及び質疑応答」に入ります。事業者の入室をお願いします。 （A事業者入室、プレゼンテーション実施）
事務局	プレゼンテーションありがとうございました。 続いて質疑応答に移ります。質問のある方は挙手にてお知らせください。
A委員	2点質問をさせていただきます。 デザイン案を3つ挙げていますが、これまでの「広報みなと」のデザインとの連続性が薄く、港区の広報誌と認識してもらえるか心配です。今後区とのやり取りで、大幅なデザイン変更をすることは可能でしょうか。
A事業者	今は変革の時期で港区が変わろうとしていると考えているため、これまでの広報誌のイメージを踏襲するのか大胆に別のイメージに変更するのか判断に迷い、正直手探り状態です。デザイン案はあくまでサンプルとして捉えていただきたいと思います。デザイン変更については、イラスト担当者が在籍しているため柔軟な対応をし

	ます。
A 委員	もう 1 つ質問ですが、様式 6 のスケジュールについて、年明け 1 月に初校で 3 月に印刷となっていますが、区側の都合で初校の提出が 2 月になる等、後ろ倒しになった際に臨機応変に対応してもらえますか。 また、最短の印刷期間がどれくらいかも併せて教えてください。
A 事業者	印刷は委託先になり、下見積もりももらっていますが、一度印刷業者に確認をさせていただきたいです。 スケジュールについては、後ろ倒しとなってしまった場合でも、何かしら対応できると思いますので、都度ご相談いただければ、しっかり対応をさせていただきます。
A 委員	ありがとうございます。私からの質問は以上です。
事務局	その他、質問のある方はいますか。
B 委員	2 つ質問をさせていただきます。 先ほど、区側との意見交換をしっかりとのご回答でしたが、話し合いはどのくらいの回数を想定していますか。
A 事業者	様式 6 のスケジュールでは、キックオフを 9 月としており、弊社が提案した課題感等を話し合って、認識や方向性のすり合わせをしたいと考えています。弊社のこれまでの経験上、仮に 2 か月に 1 回の頻度とした場合、年度末までに 4 回実施ができ、回数を少し増やすこともできます。
B 委員	ありがとうございます。 2 つ目の質問ですが、区では D E & I (Diversity Equity& Inclusion) を重要視していますが、提案された表紙等では国際性・多様性・男女平等参画の視点が足りないと感じ、もっと取り入れて欲しいと思いました。この 3 つの視点をどのように取り入れていきたいと考えていますか。
A 事業者	企画提案書の表紙は、差込であるため、最終的にはマイノリティ

	の方々や、やさしい日本語等を含めてわかりやすくしていきたいと考えています。
B 委員	例えば、配色の変更希望等にも対応していただけるということでしょうか。
A 事業者	はい、そのとおりです。
B 委員	ありがとうございます。私からは以上です。
事務局	その他、質問のある方はいますか。
C 委員	自治体や民間企業での実績が多数ありますが、自治体の広報誌を作成する際に気を付けている点や配慮している点があれば教えてください。
A 事業者	排除してはならない人を排除してしまうことがないように気を付けています。企画提案書に「区民参画」と記載をしていますが、自治体によって認識に差があるため、すり合わせをして具体化するように心掛けています。 例えば「育児参加」のイラストを描く際は、男性も入れるよう配慮していたり、急な要望や変更が発生した際には、しっかり対応をしています。
C 委員	最後の質問ですが、御社に委託した場合に、例えばスケジュール管理等で区側の負担が軽減する等、メリットはありますか。
A 事業者	自治体様は、見た目のこだわりや議論で終始する傾向にあるため、デザインではなく構成の考え方をすり合わせていくことで、考え方もクリアになり、スタイルを変えたりすることができます。共通認識を持つことで、とてもやりやすいと自治体様からお褒めの言葉をもらうことができました。
C 委員	ありがとうございました。
事務局	その他、質問のある方はいますか。

D委員	丁寧なプレゼンテーションありがとうございました。 3点質問をさせていただきます。 1点目ですが、障害からの視点でユニバーサルデザインについて、今回特に配慮している点がありましたら教えてください。
A事業者	企画提案書ではわかりづらかったと思いますが、文字サイズには気を付けており、文字の大きさは8ポイント相当以上としています。文字サイズに関しては、一番ご意見を受ける点であり、そこをしっかりと対応しています。
D委員	今回全戸配布ですが、手に取って内容を見てもらえる方が中々いない中で、必ず手に取って見てもらうように気を付けている点がありましたら教えてください。
A事業者	一番難しい点であります。まずは開いてもらうことが大事になるため、内容を表紙に記載した点がポイントになります。そうすることで、自分自身に向けた広報であることを認識してもらうように発信し、かつ多くの方が興味を持つ表紙デザインとすることで、手に取って見てもらうことができると考えています。
D委員	企画提案書に「正確性・普遍性・愛」とあり、その中で「シビックプライド」と記載がありますが、広報誌の中でシビックプライドを醸成していくとは、具体的にどのようなことを考えていますか。
A事業者	全戸配布で、普段広報誌を読まない方々にも読んでいただく必要があります。港区が好きである方をターゲットとする内容になると、読まない方々にとっては、わかりにくい情報になってしまう可能性があります。そのため、ニュートラルな人もパッとみて「区は頑張っている」と感じてもらうことが大事であると考えています。
事務局	その他、質問のある方はいますか。
E委員	今回はご参加くださりありがとうございます。

	何点か確認させてください。 様式5の業務従事予定者と専任性で、総責任者と業務責任者の方がどなたであるかわかりましたが、（本日出席されている）他の方々が、本業務に関わってくるということでしょうか。
A事業者	はい。
E委員	わかりました。 スケジュールについてですが、予算案は年明けに何とか形としてまとまるため、初校段階では、不確定な箇所を「××××」の形で提出することになるかと思います。 また先ほど、文字サイズに非常に気を付けているということでしたが、企画提案書のグラフ内の文字も8ポイント以上の大きさなのでしょうか。
A事業者	小さい文字のところは8ポイント以下となっている箇所もあります。
E委員	企画提案書は、あくまでサンプルのため、制作の中で文字の大きさの調整ができるということでしょうか。
A事業者	はい、そのとおりです。
E委員	わかりました。ありがとうございます。
事務局	その他、質問はないでしょうか。
全委員	（追加質問等なし）
事務局	以上をもちまして、事業者によるプレゼンテーションと質疑応答を終了します。 （A事業者退室）
事務局	これから採点を行っていただきます。 採点記入後、事務局へ提出をお願いします。

全委員 事務局	(採点) (採点集計。様式5を配布。)
事務局	4 議題審議 議題1 第二次選考の採点結果について では選考委員会を再開いたします。委員長よろしく申し上げます。
委員長	初めに、議題1「第二次選考の採点結果について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(採点結果及び講評の依頼・順番について説明。)
委員長	事務局からの説明は終わりました。採点結果について質問・ご意見等ありましたらお願いします。
全委員	(質問・意見等なし)
委員長	次に講評について、C委員から順番にお願いします。
C委員	二次審査資料の内容がそれ程良くなかったのですが、質疑応答の中ではしっかりされていることが確認できたので、採点対象を資料ベースとするのかプレゼンテーションと質疑応答ベースにするかで悩みました。今回の委託は、広報誌の作成であることから、紙面で伝えることが大事であると考え、資料ベースとしました。最低基準を満たしていることと、資料に口頭での説明等を加えた項目は3点とし、優れている項目は4点として、差をつけました。
B委員	プレゼンテーションの内容を評価しました。 質疑応答は、誠実で熱意も感じられ、区側の質問に正確に答えようとする姿勢も感じました。また定例会以外にもミーティングを行い、意見交換をしながら作業を進めていけば、こちらの意図はわかってもらえるという期待を込めて評価しました。 一方で、区の特性についての理解は、まだ足りていないと感じましたので、項番2については3点としました。 項番3について、デザインや創造性を一生懸命説明されていまし

	たが、レトロな印象があり、主張されている未来感が伝わってこず、理解できませんでした。 また、質問をした多様性や男女平等参画の視点が弱いと感じたため、男女共同参画の担当課からも確認をしてもらった方が良いと思います。そのため項番3は3点としています。 ただし、全体的には及第点ではあると思いますので、総合で18点としています。
A委員	他の委員の方と同様ですが、プレゼンテーションから企画提案書以外の柔軟性や積極性を強く感じられたので、本委託業務への熱意と意欲があると感じました。 しかし一方で、「文字サイズは8ポイント以上」と言いながらも8ポイント以下の箇所もあり、上手に表現できておらず、文字が見にくいのは気になりました。事務局が文字の大きさに気を付けてやり取りする必要があることに若干不安を感じました。
D委員	企画提案書等ではわからなかった部分をプレゼンテーションでしっかりと説明をしていたため、高評価をしています。 210人の社員がいる中でも、デザイナーが複数人在籍しているため、すぐ対応してもらえる柔軟性を評価しました。 企画提案書は、豊島区の受託経験をそのまま活用していると思いますので、文字の大きさ以外にも、デザインとして外国の視点を含める等、港区らしいデザインを依頼すれば、問題なく作成してもらえとの期待も込めて採点をつけました。
E委員	プレゼンテーションで、本業務に対する取組姿勢は誠実で、非常に前向きである点は評価しました。 一方で、デザインは豊島区の制作品を模した印象が拭えませんでした。区が取組んでいるカラーバリアフリーやユニバーサルデザインの取り入れが弱いと感じているため、A事業者に確定した場合は、全体的に十分な調整が必要であると思います。 ただ、今回の委託事業の実現性はあると考え、今回の評価をつけました。
委員長	プレゼンテーションや質疑応答など、全体を通じて気になった点や疑問点はありますか。

C委員	スケジュールが気になりました。 事業者側は、区の予算のスケジュールについて、事前に知っていたり、区側が事業者へ伝えていたのでしょうか。スケジュールが後ろ倒しになった際に、調整が可能と話していましたが、個人的に区側にあまり配慮をしてくれないのではないかと感じました。
事務局	仕様書や募集要項には明確なスケジュールの記載はしておらず、事業者側にも区の予算成立に関するスケジュールは伝えていません。 しかし、企画提案書作成時の案内に、募集要項で「令和7年2月21日発行の「広報みなと 予算特集号」」を参考に作成するよう記載をしているため、それを確認していれば、いつ頃予算が決まるのか把握できると思います。
C委員	提出された資料のスケジュールでは、それを確認しているとは感じられないため、最初にスケジュールの話し合いが必要だと思います。全体を通じて、事業者は区の知らないことが多いと感じたため、そこを知ってもらうためにも情報は伝えた方が良いと思います。
事務局	承知しました。 ご指摘のとおりだと思いますので、しっかりと話し合い情報共有をしていきます。
E委員	予算特集号の作成スケジュールと、事業者が提出した作成スケジュールには、どのくらい期間の差があるのでしょうか。
事務局	2月21日発行の予算特集号は、「予算案」として発行していますが、今回の事業である特別号は、予算案ではなく確定した予算内容での発行となるため、単純比較はできません。通常は、約2か月前から原稿作成が始まります。予算内報後に原稿作成が始まるため、予算特別委員会で予算案の内容が大幅に変更になるような不測の事態が発生しない限りは、スケジュールは問題ないと感じています。 しかし、今年の第1回定例会のように、普段と異なる後ろ倒しの

	議会日程となった際に、委託内容である印刷までは可能ですが、全戸配布まで年度内に完了出来るかという点は、若干不安があるため、スケジュールの見直しが必要であると考えています。
E 委員	そこまで大きな制作期間の差はないと理解しました。
委員長	他に質問や意見はありませんか。
全委員	(質問・意見等なし)
委員長	点数の変更等を希望される委員の方はいますか。
全委員	(点数変更希望なし)
委員長	A事業者の第二次選考の合計点数について、事務局から説明をお願いします。
事務局	525 点満点中、388 点です。
委員長	A事業者の第二次選考の点数は、388 点で確定したいと思います。
全委員	(異議なし)
委員長	議題 2 事業候補者の選出について 事業候補者の選出について、事務局から説明をお願いします。
事務局	第 1 次選考では、1,125 点満点中 744 点、第二次選考では 525 点満点中、388 点で、合計 1,650 点中 1,132 点でした。第一次選考及び第二次選考のいずれも最低基準ラインの 60%以上の得点率で審査基準を満たしています。そのため、A事業者は、本委託事業の事業候補者資格を有していることが確認できたため、委託事業候補者として選出したいと考えています。 事務局からの説明は以上です。
委員長	事務局からの説明は終了しました。 本選考でA事業者は、本委託事業の事業候補者資格を有している

	ことが確認できたため、委託事業候補者として選出を確定してもよいでしょうか。
全委員	(異議なし)
委員長	ではA事業者を委託事業候補者として確定します。
事務局 全委員	5 事務連絡 (事務局から今後の内容について説明) (質問等なし)
委員長	6 閉会 (委員長から閉会の挨拶)
	以上